

工事記録写真撮影要領

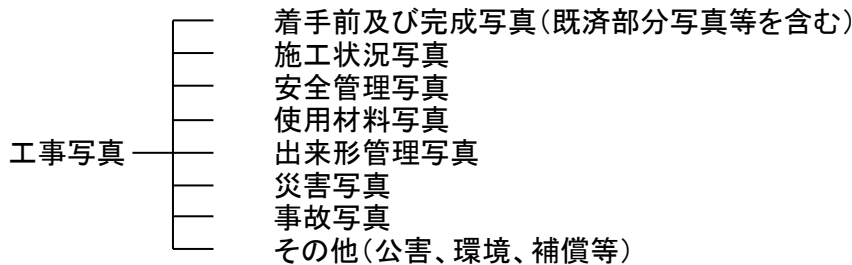
平成24年4月1日制定
令和4年7月1日改訂

(適用範囲)

1 この要領は、水道施設設置工事自己施行工事の工事写真の撮影に適用する。

(工事写真の分類)

2 工事写真は次のように分類する。



(工事写真の撮影基準)

3 工事写真の撮影は以下の要領で行う。

(1) 撮影頻度

工事写真の撮影頻度は別紙撮影箇所一覧表に示すものとする。

(2) 撮影方法

写真撮影にあたっては、次の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- ① 工事名
- ② 工種等
- ③ 測点(位置)
- ④ 設計寸法
- ⑤ 実測寸法
- ⑥ 略図

なお、小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。特殊な場合で水道部担当者が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

(3)撮影は常に同一方向にして撮り、位置の確認を容易にするため、同一背景をいれて撮影すること。

(4)撮影する際は、ヘルメットのあご紐・安全靴の着用、作業現場を取り囲む安全柵(バリケード)の設置、作業現場が整理整頓されていることを確認すること。

(写真の色彩)

4 工事写真はカラーとする。

(写真の大きさ)

5 写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。ただし、次の場合は別の大きさとすることができる。

- (1) 着手前、完成写真等はパノラマ写真(つなぎ写真可)とすることができる。
- (2) **柏市上下水道局水道工務課**担当者が指示するものは、その指示した大きさとする。

(工事写真帳の大きさ)

6 工事写真帳は、原則としてA4版とする。

(工事写真の提出部数及び形式)

7 工事写真の提出部数及び形式は次によるものとする。

- (1) 工事写真として、工事写真帳を工事完成時に1部提出する。
- (2) 工事写真帳は写真の貼り付け、または光沢紙等(写真が明瞭に印刷される用紙)に印刷したもので提出すること。

(工事写真の整理方法)

8 工事写真の整理方法については、工種毎に別紙撮影箇所一覧表の撮影頻度に示すものを標準とし、次の事項留意するものとする。

- (1) 各工種に位置図及び構造図を付し、撮影箇所と写真が対比できるようにすること。
- (2) 各写真に説明や整理番号等を付し、写真と作業内容が対比できるようにすること。
- (3) 各工種にインデックスを付け、必要な写真がすぐに確認できるようにすること。

撮影箇所一覧表

区分	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	
着手前・完成	着手前	全景又は測点毎	着手前1回 [着手前]	
	完成	全景又は測点毎	施工完了後1回 [完成後]	
施工状況写真	工事施工中	施工中の写真	工種, 種別毎に設計図書に従い施工していることが確認できるように適宜 [施工中]	主な撮影箇所は施工状況・出来形管理写真撮影箇所一覧に記載。
	仮設	使用材料, 仮設状況, 形状寸法	1施工箇所に1回 [施工前後]	
	図面との不一致	図面と現地の不一致の写真	必要に応じて [発生時]	
安全管理	安全管理	各種標識類の設置状況	各種類毎に1回 [設置後]	
		各種保安施設の設置状況	各種類毎に1回 [設置後]	
		交通整理員状況	各1回 [作業中]	
使用材料	使用材料	検査実施状況	検査実施毎に1回 [検査時]	
出来形管理写真	別添 施工状況・出来形管理写真撮影箇所一覧表に記載			
災害	被災状況	被災状況及び被災規模等	その都度 [被災前] [被災直後] [被災後]	
事故	事故報告	事故の状況	その都度 [発生前] [発生直後] [発生後]	発生前は付近の写真でも可
その他	補償関係	被害又は損害状況等	その都度 [発生前] [発生直後] [発生後]	

施工状況・出来形管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度	
1	管路掘削工 (本設管)	舗装版掘削積込状況	40m毎に1回 [施工中]	掘削機械・運搬車両がわかるように撮影すること。
		掘削状況	40m毎に1回 [施工中]	
		深さ 幅	40m毎に1回 [掘削後]	
2	管路埋戻し工 (本設管)	埋戻し状況	40m毎に1回 [施工中]	
		基準高	各層毎40mに1回 [転圧後]	
		埋設シート設置状況	40m毎に1回 [施工後]	
3	管路掘削工 (仮設管)	掘削状況	80m毎に1回 [施工中]	掘削機械・運搬車両がわかるように撮影すること。
		深さ 幅	80m毎に1回 [掘削後]	
4	管路埋戻し工 (仮設管)	埋戻し状況	80m毎に1回 [施工中]	
		基準高	各層毎80mに1回 [転圧後]	
5	管布設工 (本設管)	土被り	施工延長40m毎に1回 [布設後]	
		占用位置		
		管切断・溝切状況	施工全箇所 [施工後]	
		切管管口補修材塗布状況		
		切管寸法		
		管吊り込み状況	40m毎に1回 [施工中]	
		管布設状況	40m毎に1回 [施工中]	
		滑材塗布状況	40m毎に1回 [施工中]	
ポリエチレンスリーブ被覆工	40m毎に1回 [施工後]			
6	管布設工 (仮設管)	管布設状況	施工延長80m毎に1回 [布設後]	
7	管継手工	接合状況(K形)	継手全箇所 [接合後]	
		接合状況(GX形・NS形) 継手チェックシートの記録	継手全箇所 [接合後]	・チェックシートに記入する数値を黒板に記入し撮影する。 ・チェックゲージ入り込み量の目盛が確認できる写真を、1受口当たり1箇所以上撮影する。
		接合状況(EF形) 継手チェックシートの記録	継手全箇所 [接合後]	チェックシートに記入する数値を黒板に記入し撮影する。
8	仕切弁設置工	仕切弁設置状況	施工全箇所 [施工後]	
		砕石基礎 幅, 厚さ	施工全箇所 [施工後]	
		弁筐設置状況	施工全箇所 [施工後]	
9	消火栓・排水栓・ 空気弁設置工	栓・弁設置状況	施工全箇所 [施工後]	
		砕石基礎 幅, 厚さ	施工全箇所 [施工後]	
		栓室設置状況	施工全箇所 [施工後]	

番号	工種	写真管理項目		摘要	
		撮影項目	撮影頻度		
10	既設管連絡箇所 (不断水連絡, 管路断水器, 凍結)	割T字管設置状況	施工全箇所 [設置後]		
		管路断水器設置状況	施工全箇所 [設置後]		
		水圧測定	施工全箇所 [測定中]		
		穿孔状況	施工全箇所 [施工中]		
		凍結工状況	施工全箇所 [施工中]		
		ポリエチレンスリーブ被覆工	施工全箇所 [施工後]		
		コア確認	施工全箇所 [施工後]		
		川砂埋戻し状況	施工全箇所 [施工後]		
11	既設管撤去	管撤去状況	40m毎に1回 [施工中]		
		粉じん飛散防止措置状況 (石綿管の場合)	40m毎に1回 [施工中]		
12	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ	各層毎40mに1回 [施工後]		
		転圧状況	各層毎40mに1回 [施工中]		
		厚さ	各層毎40mに1回 [施工後]		
13	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ	各層毎40mに1回 [施工後]		
		転圧状況	各層毎40mに1回 [施工中]		
		厚さ	各層毎40mに1回 [施工後]		
14	アスファルト舗装工 (基層工)	敷き均し, 転圧状況	施工量500㎡毎に1回 [施工中]	水道工事施工者が施工する場合のみ	
		タックコート, プライムコート	各層毎に1回 [散布時]		
15	アスファルト舗装工 (表層工)	敷き均し, 転圧状況	施工量500㎡毎に1回 [施工中]		
		タックコート, プライムコート	各層毎に1回 [散布時]		
16	路面切削工	幅 厚さ	1施工箇所に1回 [施工後]		
17	区画線工	施工状況	施工日に1回 [施工前・後]		
18	土留工	使用材料 仮設設置状況 形状寸法	1施工箇所に1回 連続する場合は40m毎に1回 [施工後]		現況道路施工時は必須 (1.5m以上掘削する場合)

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度	
1	下層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 〔試験実施〕	
2	上層路盤工	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 〔試験実施〕	
3	アスファルト舗装 (舗設現場)	現場密度の測定	合材の種類毎に1回 〔試験実施〕	<ul style="list-style-type: none"> ・温度計の表示がわかるように撮影すること。 ・初期締め固め温度110℃以上 ・開放温度50℃以下
		温度測定 現場到着温度 敷均し温度 締め固め温度	合材の種類毎に1回 〔試験実施 中〕	
4	管路土工 (施工)	改良土管理試験 (土研式貫入試験)	40m毎に1回 〔試験実施中〕	